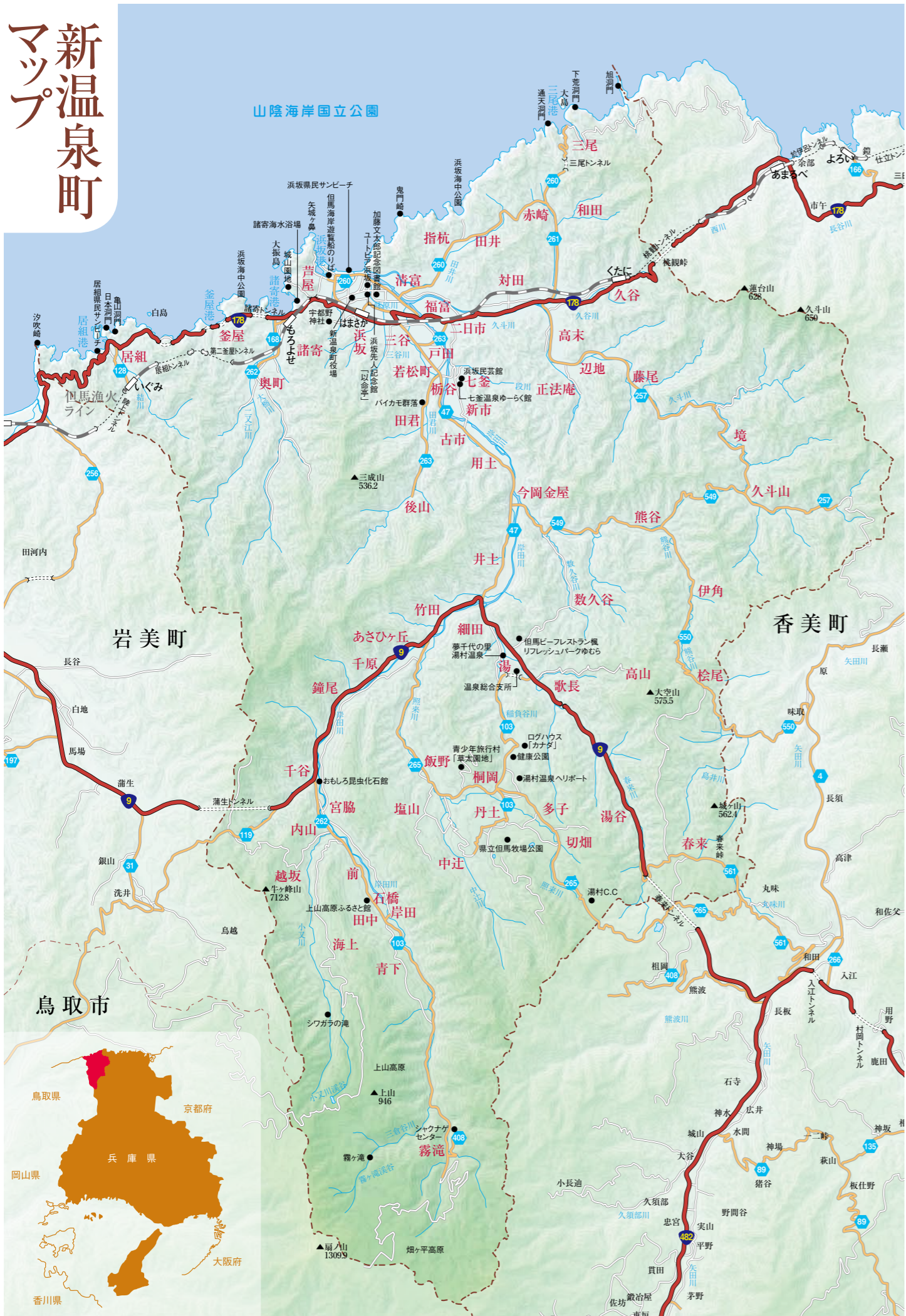


新温泉町



議会



町政に関する議決機関である新温泉町議会は、町民の代表である20人の議員によって構成されています。議会には定例会と臨時会があり、定例会は年に4回（3、6、9、12月）、臨時会は必要に応じて開かれています。また、総務、

産業建設、文教民生の3つの常任委員会と議会運営委員会・議会広報調査特別委員会を設置しています。議会の会議は一般に公開されており、議員の活動や施策方針などを実際に見聞することができます。

「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷」の実現が新温泉町のテーマです。



新温泉町長
馬場雅人

現在、多くの日本人は、自然や資源を尊び、神仏に感謝して生きていくという思想を表面的には忘れてしまっているのではないのでしょうか。古代より日本人は、八百万の神や大自然の偉大な働き（サムシング・グレート）について、ずっと考えて生きてきました。これからの時代は、サムシング・グレートに感謝して、「自然と共に生きる」という日本の考えが世界中で必要になってきます。

加えて、高度経済成長後に日本社会が失ってしまったと指摘される「家族の絆」や「地域コミュニティ」、そして「日本の原風景」が今なお私たちのふるさと新温泉町にはふんだんに残っています。

科学、技術に偏り、弱肉強食、優勝劣敗の考え方は、人類はやがて下降線をたどるかもしれません。

「自然と共に生きる」という私たちが培ってきた文化や思想は、世界の平和に役立ちます。科学、技術を高レベルでマスターしている日本人だからこそ、その高貴な「精神文化」を世界に向けて発信できるので

新温泉町では、山陰海岸国立公園一帯をユネスコによる世界ジオパーク（地質公園）への登録を目指し、その準備を進めています。

海、山、温泉の代表格をはじめ、ホタルイカ、松葉ガニ、但馬ビーフという日本のグルメが求める一級品がそろっています。

これら都市部で求めても得られない自然と資源を具体的にどう活性化に結びつけるのか、つまり「ロマン」と「そろばん」の調和が大切です。皆さま、新温泉町を少し愛して、長く愛してください。